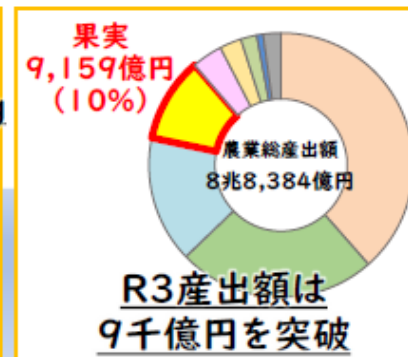
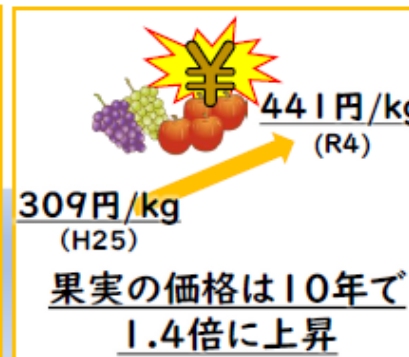
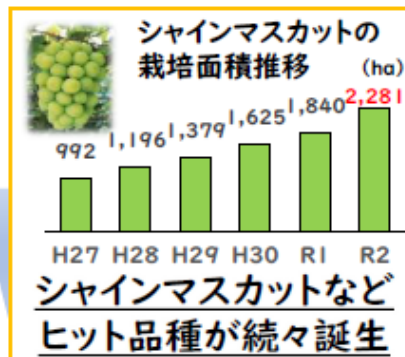


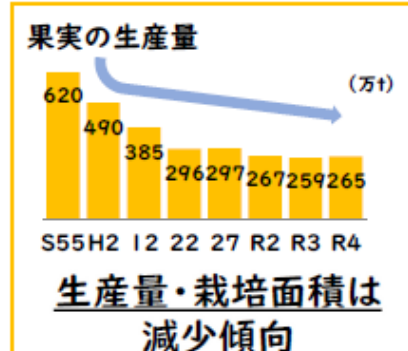
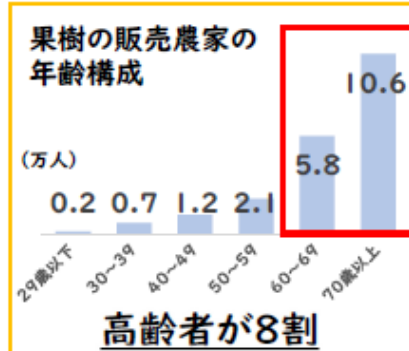
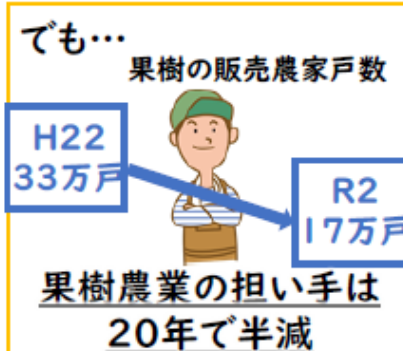
# 果樹産地の置かれている状況①

(R5.10.19担い手事例発表会 農水省説明の一部抜粋)

## 今こそ、果樹産地の将来のために



## 果樹農業に大きなチャンス



→行政や農協、地域一体で担い手確保を

# 果樹産地の置かれている状況②

(R5.10.19担い手事例発表会 農水省説明の一部抜粋)

2

## 担い手育成、定着に向けた産地の取組実態 (アンケート調査)

### ◆新規参入のハードル

#### 1. 未収益期間の存在



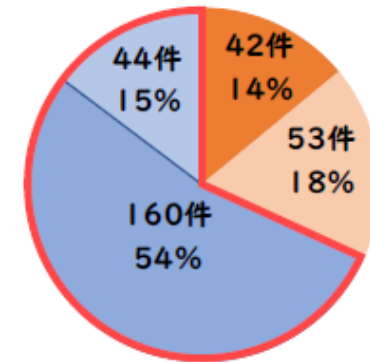
#### 2. 園地の確保が困難



#### 3. せん定など高度な技術を要する



### 現在の産地での担い手の確保状況



回答数:299件

■ 既に確保

■ 今後確保の見込みあり

■ 取組を行っているが、確保の見込みなし

■ 取組を行えておらず、確保の見込みなし

7割の産地が  
担い手確保の見込みなし

# 意見交換会テーマ

- 今後の果樹産地の方向性
  - ① 地域を維持発展させていくために必要なこと
  - ② 果樹特有の課題・難しさ（その克服に向けて必要なこと）